

乳牛はもっと健康に生産性を向上できる！

乳用牛の健全性向上のための泌乳平準化技術の開発

【背景・目的】

乳牛では分娩後に急激に乳量が増加すると、餌の食べる量が追いつかず疾病や繁殖障害を引き起こしやすくなります。また、泌乳後期に乳量が減少すると牛が太り、次のお産の時に病気になるしやすくなります。そこで乾乳期間を短くし、いつも乳量を一定にして楽に健康に飼える飼養マニュアルの作成を目指します。

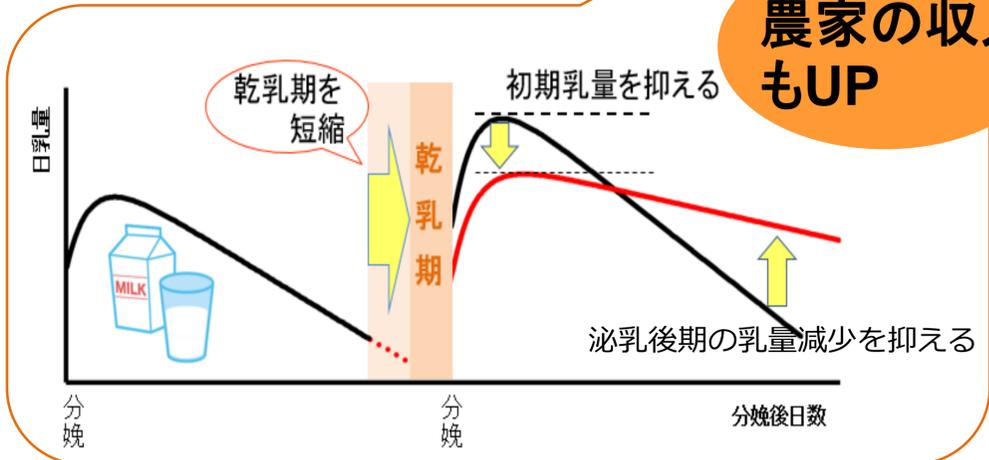
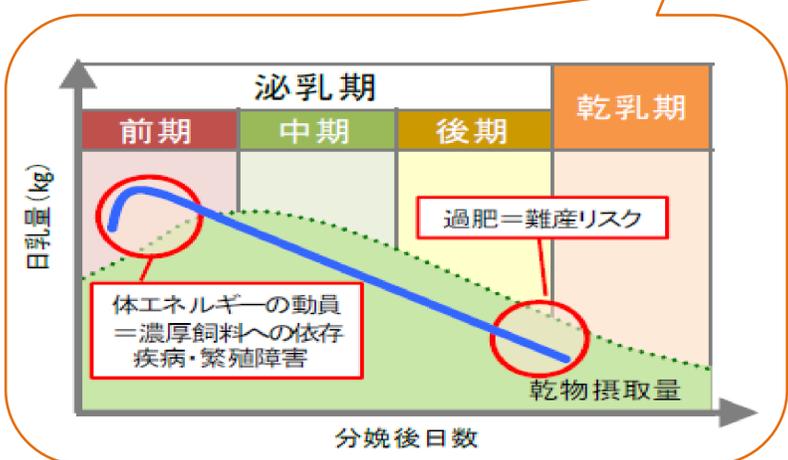


高能力化で
乳量UP!

泌乳平準化^{※1}
させることで
牛の健全性を
改善！

※1 泌乳初期と後期の乳量の差が小さくなって
いる状態

だけど、
過度の乳量増加は体への負担大



【試験の内容】

初産から2産目の乾乳期間(分娩前に搾乳をやめて乳腺を休ませる期間)を短縮し、蛋白質を増給して2産目の産乳成績と繁殖成績を比較した

【成果の内容】

① 繁殖成績が良好

産後のエネルギーバランスの回復が早くなり、結果、発情回帰日数や初回授精日数が早まった(図1)

② 乳生産量^{※2}は低下するが、乳成分値が増加(図2および3)

※2ただし、初産次搾乳延長分を加味すると乳生産量の低下は抑えられた

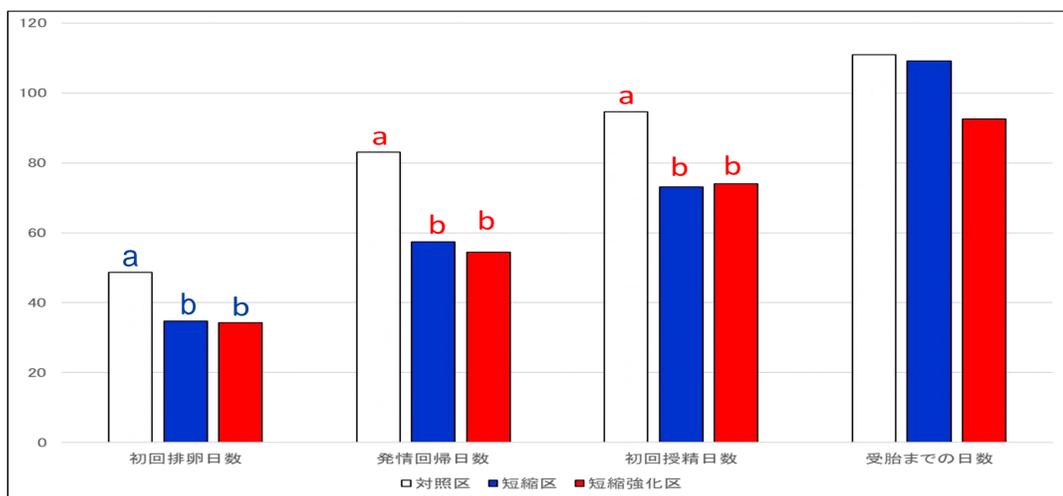


図1 繁殖成績

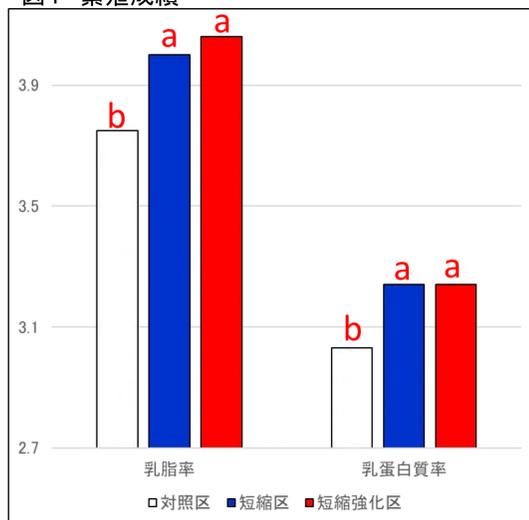


図3 乳成分値(%)

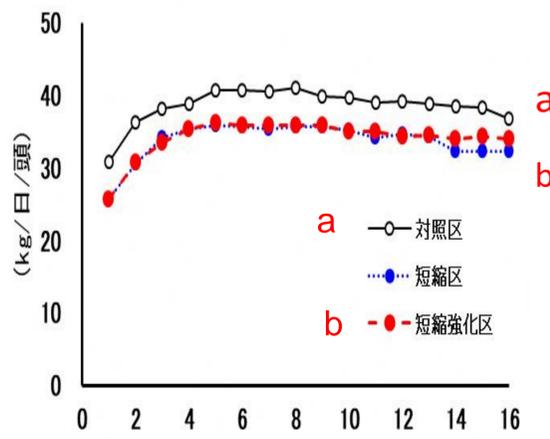


図2 乳量の週次推移(kg/日) (分娩後週数)

* 異符号間に有意差あり 赤字:P<0.05
傾向あり 青字:P<0.1

お問い合わせ先

岡山県農林水産総合センター
久米郡美咲町北2272

畜産研究所

TEL. 0867-27-3321